

「菊中生に読ませたい本100」他

愛媛県 今治市立菊間中学校

基本データ

所在地	今治市菊間町浜 2628 番地1
児童生徒数	87 人
教職員数	19 人
蔵書数	7,588 冊
年間貸出冊数	約 300 冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 学級文庫を各学級に設置し、各教科の学習内容に関係する本や生徒の興味・関心の高い本を置き、学期ごとに入れ替えることで、読書への興味・関心を高め、読書に親しむ態度を育てる。
- 学校図書館よりも蔵書の数・種類がともに豊富で、貸出期間が長い市立図書館の団体貸出を利用することにより、生徒が学習資料の本を有効に活用して学ぶ態度を育てる。
- 朝読書（10 分間）や授業間の休み時間、昼休みの時間等に、自分のお気に入りの本を読む時間をとることで、読書への興味・関心を高め、生徒の読書習慣を確立させる。

取組・活動の概要

- 「菊中生に読ませたい本 100」と題して保護者から推薦図書を募集し、保護者と連携した読書活動を推進した。様々なジャンルの本があり、生徒の好評を博している。



「菊中生に読ませたい本 100」

- 10 月に行った人権・同和教育講演会に先駆けて、講演会のテーマである「杉原千畝」に関する書籍を市立図書館から借り、全校での読書活動を推進した。
- 11 月に行った人権啓発劇の台本作りのため、「鬼」をテーマにした絵本を市立図書館から借り、3 年生での読書活動を推進した。
- 社会科の授業で扱うアフリカに関する書籍を市立図書館から借り、1 年生での読書活動を推進した。
- 朝読書を 15 年以上継続して行っている。

取組・活動の工夫や特徴

- 学校図書館のカウンターには、1 学期から「本屋大賞コーナー」を設置し、歴代の受賞作と受賞者の本を紹介し、読書意欲を喚起している。
- 読書通信の中に「読書記録」のコーナーを設け、本の中からいくつかの言葉を抜粋し、紹介している。関心をもって借りにくる生徒もおり、教師と生徒、または生徒間の読書交流を行っている。
- 各学級文庫には国語科の教材に関連する本を中心に設置して、普段の授業から読書の幅を広げるようにしている。



本屋大賞コーナー

取組・活動の成果や今後の展望

- 読書交流では、生徒は本を読んだ感想を付箋紙に書いて、書籍の裏表紙に貼り付けており、その感想も交流することにより、読書への関心が高まっている。
- 図書委員をはじめとする上級生が、下級生に積極的に本の紹介をする場面が増えてきた。